

(様式3)

平成31年度 動物実験等に関する報告

瀬戸内海区水産研究所

項目	報告内容
1 動物実験等の実施状況	
(1) 実施件数	当該年度の実験件数の合計 1 件
(2) 使用動物種	当該年度の実験に使用した全動物種名：BALB/cマウス
(3) 関係研究課題数	当該年度の全実験課題数 1 課題
(4) 実験課題	交付金一般研究課題「内湾・内海域における主要ベントス類を用いた干潟生物ネットワークの調査手法の開発」研究課題等のためのモノクローナル抗体作製
2 点検・評価結果	
(1) 所内規程の制定	瀬戸内海区水産研究所動物実験委員会規則 平成18年6月1日付け 18水研瀬 第13号 改正 平成24年6月1日付け 24水研瀬 第060103号 改正 平成28年4月1日付け 27水研瀬 第032502号
(2) 動物実験委員会の設置状況・構成	委員長：業務推進部長 委員：業務推進課長、生産環境部・資源生産部・環境保全研究センター・海産無脊椎動物研究センターの各委員
(3) 動物実験等の実施状況	マウスの腹腔内に1回目はフロイントの完全アジュバントと抗原溶液の混合液 0.1 mlを接種、2週間後にフロイントの不完全アジュバントと抗原溶液の混合液 0.1 mlを接種した。2回目の抗原接種から2週間後に尾部静脈に抗原液 0.05 mlを接種し、3日後にエーテル麻酔下で放血により安楽死させて直ちに脾臓を摘出し、細胞融合に供試した。
(4) 教育訓練等の実施	本部提供の視聴覚素材等を共有し閲覧した。
(5) 実験動物の飼養等	適切な飼育施設・給餌・給水により飼養管理した。
(6) 緊急時の対応	平成31年度、緊急事態の発生は無かった。
(7) 総合評価	瀬戸内海区水産技術研究所動物実験委員会において審議し、実験の経過は国立研究開発法人水産研究・教育機構動物実験規程に照らし適切と認めた。